

〈特集〉災害に備える あなたは大丈夫ですか？

その1

避難訓練から学ぶ

9月20日に、水害を想定した避難訓練が実施されました。宮下地区・千歳地区・本通地区を対象に行われた避難訓練には、65人の村民が参加し、役場職員、消防職員、消防団員など関係機関を含め総勢140人が避難場所である占冠中学校に集まりました。

避難完了後は、北海道消防学校教務課長 藪本秀彦さんを講師に迎えて「災害図上訓練」を行いました。この訓練は、災害想像ゲーム(DIG)と呼ばれ、地図を用いて避難経路などを確認し、防災意識を高めるものです。実際に地区ごとに分かれて、地図上に川や道路などの色を塗り、川の流れる方向や道路の高低、移動ルートや浸水する場所・危険箇所などを確認しました。その地区に長く住む住民から、過去の水害状況などを話してもらうことで、地域内の情報を共有することにもつながりました。

また、避難場所の敷地内や体育館の図面を用いて、避難通路を確保しながら、どこに何を置くのか、どう避難者の状況に応じた誘導をするのかなど、避難所の設営についても考え合いました。講師からは、「このようなイメージトレーニングを繰り返し行っていくことが大切」とアドバイスを受けました。

最後に、備蓄食料の試食として、アルファ米と缶入りパンを試食し、避難訓練を終了しました。

■災害図上訓練の様子



非常持出品も確認しました。

重すぎてもダメですよ～最小限に！

- ・貴重品・携帯ラジオ・飲料水・非常食(給)
- ・タオル・普段飲んでいる薬も忘れずに！

Disaster (災害)
Imagination(想像力)
Game (ゲーム)

= 「防災意識を掘り起こす」「地域を探求する」「災害を理解する」という意味(願い)を込めて、このノウハウを「ディグ」と呼んでいます。



《避難訓練の流れ》

- 8:30～災害対策本部設置
職員、消防団等招集
任務分担の確認
避難勧告
- 9:00～消防車、広報車巡回
避難者支援バス運行
物資搬入
- 10:15 避難完了
避難者の受付
健康状態の確認
- 10:30～災害図上訓練
備蓄食料の試食

■アルファ米 の試食



アルファ米は、一度炊いた米を乾燥させた米で、お湯で15分、水の場合は60分で食べられます。



占冠村赤十字奉仕団と連携し、炊き出し

■物資搬入



避難所である占冠中学校の向かいには、備蓄倉庫があります。その中には、非常食はもとより、トイレトーパーやおむつ、土のう、スコップなど多くの資材や物資が備蓄されています。

災害時には、ここから必要なものを搬入します。

その2

ハンドブックで確認

■防災マップ P7~

自分の住んでいる場所・地域の状況や、避難場所を確認しましょう。

■地震災害編 P13~

減災対策や対処法について、確認しましょう。

■家族の連絡方法・集合場所を決める P18

災害は、家族が一緒のときに起きるとは限りません。家族が離れ離れになったときの連絡方法や集合場所を日頃から決めておくことが大切です。

■主な非常持出品リスト P20

災害発生に備えて、非常持出袋を用意しておきましょう！



- ①現金、身分証明書、携帯電話、筆記用具、ハンカチ、ティッシュペーパー、マスク、カイロ、ホイッスルなど（日頃から携行しましょう）
- ②非常食・水、懐中電灯・携帯ラジオ、衣類・タオル、常備薬など
- ③食品（缶詰、ドライフーズなど最低3日分）、水（大人1人1日3リットルが目安）、防寒具など（災害から復旧するまでの数日間のために）

※この他に、火災・水害などで預金通帳や保険証券など大事な書類を失うこともあり得ます。「財産管理メモ」を作り、非常持出袋に入れておきましょう。

※上記は一般的なリストですので、家族にあったものを用意しましょう。そのため「非常持出袋」を野外へ持ち出して点検することも大切です。実際に非常グッズが使えるのか？非常食の試食などをして足りないもの、もっとこういうものがあると便利、など気づく点・見直す点があるはずです。

「占冠村防災ハンドブック」は、災害に備えておくことや災害が起きた時の対処方法などをまとめたものです。このハンドブックは、10月に世帯配布されています。内容をご覧になったでしょうか？
一部内容を紹介しますので、ぜひ、ご家族の中で確認してみてください。
日頃から手の届くところに置いていただき、災害に備える「防災」と、災害時の被害を少しでも減らす「減災」のためにご活用ください。

■避難所一覧 P21

地区名	避難場所	電話番号
双珠別	双民館	56-2842
双珠別	双珠別住民センター	56-2443
中 央	占冠村総合センター	56-2121
中 央	占冠中学校	56-2821
中 央	占冠村コミュニティプラザ	56-2590
占 冠	美園地区集会所	56-2413
占 冠	占冠地域交流館	56-2405
トマム	トマム小中学校	57-2237
トマム	トマムコミュニティセンター	57-2160
中 央	占冠村デイサービスセンター	56-2700

※占冠村デイサービスセンターは福祉避難所です。



その3

訓練の重要性

地図の確認や非常持出袋の準備など、災害の備えをしていたとしても、非常時となると、なかなか動けないものです。災害が起きた時にどうするのかをシミュレーションしておくことは大事なことです。避難訓練は、そうした防災の意識を高めるための大事な機会ですので、積極的に参加しましょう！

そのような中で、トマム町内会では、9月27日に初の試みとして「トマム地区避難訓練」が行われました。

地域の皆さんが参加し、煙体験ハウスによる避難訓練、消火器を使った消火訓練、備蓄米の試食、防災に関する講話などが行われました。



こうした地域での取り組みは、一般的な知識よりも、はるかに防災意識を高め、どう避難するのか、何をどうすればいいのか、役割や動きなどを認識できると思います。
災害から身を守るために、地域を力を高めていく必要があります、まずは集まって話し合いからでもやってみてはいかがでしょうか。